

平成23年(2011年)2月24日

保護者各位

札幌市立あやめ野小学校  
校長 山脇 栄

## 保護者アンケートのお礼と 次年度へ向けた改善策

保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜りお礼申し上げます。

さて、今年度もお忙しい中、多数の保護者の方々に『本校の教育に関するアンケート』へのご回答をいただき、ありがとうございます。今年度の回収率は88%と昨年より高い率になりました。ご協力に感謝申し上げます。

アンケートの結果や記述いただいたご意見を参考に、検討を進めてまいりました。次年度に向けての改善の方向もまとめ、より良いあやめ野小学校をめざすための計画の土台ができあがったと思っております。これも、保護者の皆様のご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

2月4日(金)に開催いたしました学校教育報告会へも多数の方々にご出席をいただきました。重ねてお礼申し上げます。報告会では、保護者アンケートとともに児童アンケートの集計結果、私たち教職員の自己評価、学力テストの状況、それに加え平成23年度から全面実施の学習指導要領をもとに、課題を提示し次年度に向けた改善策をご説明いたしました。また、2月10日(木)には、学校関係者評価委員の皆様にお集まりいただき学校関係者評価を行い、委員の皆様から本校教育に対する貴重なご意見もいただきました。

ここにアンケートの結果と改善策の概略及び学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見を掲載いたします。紙面の関係上、すべてのアンケート項目を取り上げることは難しく、課題に結びつくものを中心にお知らせいたします。全項目の評価、ならびに自由記述の内容(個人情報には配慮しています)については公開しています。ご希望の方は、職員室にてご覧いただけますので、遠慮なくお申し出下さい。

## 平成22年度 あやめ野小学校 保護者アンケート

＜特に評価の高かったもの＞	思う	思わない
学年や2学年合同での学習、ゲストティーチャーなどの活用などを工夫し、「みんなで育てる指導」ができていると思いますか？	89%	11%
TTの活用など、一人一人を大切にされた効率的な指導がなされていると思いますか？	88%	12%
子どもたちが楽しく通える学校になっていると思いますか？	87%	13%
＜評価の低かったもの＞	思う	思わない
学校では、いじめも含めて子どもたちから訴えがあった時、親身になって受け止め、対応していると思いますか？	69%	31%
子どもたちに思いやりの心が育っていますか？	74%	26%
子どもたちは、聞く・話す力が身に付いてきていると思いますか？	76%	24%

## 平成22年度 あやめ野小学校 児童アンケート

＜特に評価の高かったもの＞	思う	思わない
友達と元気遊んでいますか？	91%	9%
授業中しっかり話を聞いていますか？	87%	13%
学校は楽しいですか？	85%	15%
＜評価の低かったもの＞	思う	思わない
わからない時は質問していますか？	51%	49%
授業中は進んで発表していますか？	53%	47%
担任の先生には何でも相談することができますか？	54%	46%
給食は残さずに食べていますか？	55%	45%

### ＜今年度の傾向＞

保護者、児童アンケートともに顕著な評価項目を上記に掲載しました。保護者アンケートにつきましては、「信頼させる学校」については、全項目80%以上の高い評価をいただきましたが、「心の充実」の項目で昨年度より低い評価が出ました。また、多くの項目で、昨年度よりA評価が増えた一方、D評価も増えました。児童アンケートでは、全体的に大きな変化はありませんでしたが、「元気よく遊ぶ」「学校は楽しい」「しっかり話を聞く」などの項目で高い評価が出ました。「先生に何でも相談できますか」「進んで発表していますか」「わからないところは質問していますか」などの項目では、昨年よりは向上したものの低い評価にとどまっています。アンケートの結果を真摯に受け止め、次年度の教育活動を進めていきたいと思っております。

# 平成22年度 自己及び学校関係者評価書

平成23年2月24日  
札幌市立あやめ野小学校

## 1. 本年度の重点目標

心豊かでたくましく取り組む子の育成

## 2. 本年度の経営方針

○学びの充実 ○心の充実 ○体の充実 ○信頼される学校づくりの推進

## 3. 自己評価

分野	評価項目	達成状況		改善の方策
		達成状況	保護者評価	
学びの充実	子どもの関心・意欲を喚起する授業を目指し工夫や準備をしているか	B	B	<p>◎基礎基本の定着 学力テストの結果をもとに、国語では言語や文法等を中心に、算数では、計算問題や数量関係といった基礎基本をTT担当や学びのサポーターを中心に個に応じた指導を進めていく。</p> <p>◎たくましく学ぶ 子どもたちが意見や疑問を持てる授業をつくり、それを発表しお互いで解決し合う中でたくましく学ぶことができるよう支援する。</p> <p>◎話す力・話し合う力の育成 失敗を恐れず自分の意見を発表できるクラスづくりを進めるとともに、なかよし活動や委員会活動の中で自分の意見を主張できるよう支援していく。</p>
	知識や技能の習得を図る学習と体験的、問題解決的な学習とのバランスがよく為されていますか	B	B	
	子どもの話す力や聞く力を伸ばしているか	C	B	
	TTを活用し、個を大切にしたい指導がなされているか	A	A	
	共同担任制・合同学習・ゲストティーチャーなどを通して、みんなで育てる指導ができているか	A	A	
	学校関係者評価による意見など	学校関係者評価		<p>★TT交流について とてもよい取り組みだと思います。子どもたちがいろいろな先生から学ぶことで刺激になるし、先生たちもいろんなクラスで授業したり、いろんな先生の授業を観ることは刺激になると思います。</p> <p>★学習の習熟について カリキュラムが増え、子どもたちが今よりさらに多くのことを学んでいかなければならない状況が生まれてきています。個別の指導やTT指導の充実などですべての子どもが、学んだ喜びを味わうことができるようしっかりとした指導をお願いします。</p>
心の充実	挨拶などの基本的な生活習慣ができているか	B	B	<p>◎「アロハ」運動の継続 今年度成果が上がった「アロハ運動」を継続し、さらに気持ちのよい挨拶があふれる学校にする。</p> <p>◎「なかよし活動」の実施 異学年交流を行い、お互いの意見を尊重し合う中で、思いやりの心や協力し合う心を育てる。</p> <p>◎教職員の共通理解 学級や学年の枠にとらわれず、全教職員で子どもを育てていく支援に立って教育活動を行っていく。</p>
	最後までやりぬこうとするたくまさが育っているか	C	B	
	いじめの訴えがあった時親身になって受け止め対応しているか	B	C	
	命を大切にする心や社会のルールを守る指導をしているか	B	B	
		学校関係者評価による意見など	学校関係者評価	
		B		

体の充実	運動やスポーツに親しむ指導や、楽しく体を使った遊びができる環境整備ができていますか	A	A	◎体育の授業の改善 子どもたちが意欲的に参加できる体育の授業をつくるとともに、サーキットトレーニングを取り入れる。 ◎遊びの中で 全員外遊びの日を設けたり、定期的な記録計測で子どもの意欲を喚起することで遊びの中で体を鍛えていく。 ◎食育の充実 生活科、体育、家庭科の中でバランスのとれた食事の大切さに気づかせるとともに保護者の協力も得て食育を行う。
	食指導、安全指導を充実させる取組がなされているか	B	B	
	学校関係者評価による意見など	学校関係者評価		★運動について とても大切なことだと思います。朝のスタートを気持ちよく切るために朝から身体を動かすなどということも考えられるのではないかと思います。 ★食育について 給食では、「子どもたちが食べたい給食」というのもあるそうですが、「保護者が子どもに食べさせたい給食」のアンケートを取るなどして保護者にももっと食事について関心を高めてほしいと思います。
信頼される学校づくりの推進	教育活動や情報を保護者や地域によく分かるよう説明しているか	B	B	◎教育活動の発信 学年便りや学級便りを通して、子どもたちの教育活動を保護者に伝えていくとともに、ホームページや学校便りを通して地域にも本校の教育活動を伝えていく。
	児童の安全を守る組織的な体制ができていますか	B	B	◎地域の活用 創造学園、八紘学園、月寒体育館、みのり保育所など地域の施設と交流することで本校の特色ある教育活動を進めていく。
	地域との交流や連携を大切にした教育活動を行っているか	A	A	◎安心安全教室の開催 警備会社、携帯電話会社、区交通安全推進委員会など外部と連携し子どもたちの安全意識の向上を図る。
	学校関係者評価による意見など	学校関係者評価		★開かれた学校に向けて 地域にとって開かれた学校であってほしいです。子どもたちが地域に出かけ、いろいろな活動をしたり、地域の方が学校で子どもたちに教えたりする取り組みがもっとあってもよいのではないのでしょうか。そのために「地域人材リスト」を作るのも一つの手段ではないのでしょうか。また、ホームページやお便りなどを通して子どもたちの活動の様子をどんどん発信してほしいです。

## 全体を通して

### ○ 挨拶について

気持ちのよい挨拶ができるように子どもに指導していくことは、とても大切なことである。初めは教師主導であっても小さな頃からきちんと挨拶をする習慣を身につけさせておけば、いろいろな場面で子どもたちが自分で「気持ちのよい経験」をすることができるはずである。その積み重ねによって子どもたち自らが進んで気持ちのよい挨拶ができるようになっていくと思います。

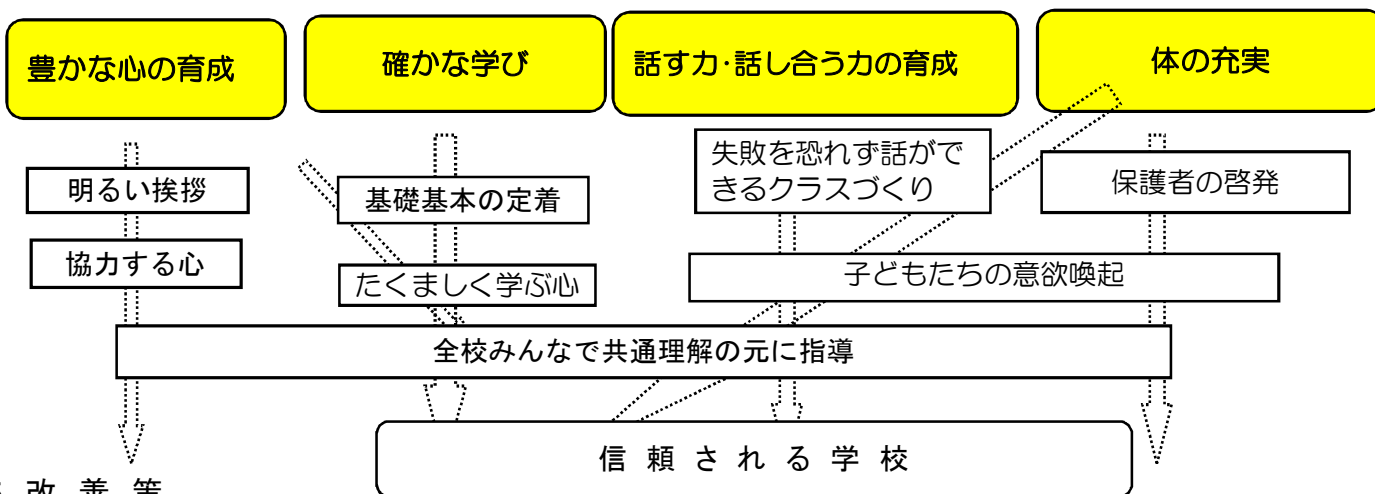
### ○ 学びについて

子どもたちは、先生たちからいろいろなことを学び取ります。ですから、先生たちにも勉強をしていただきたい。ただ、今の先生たちはいろいろなことをしなくてはならなくて、時間も足りないでしょうから「たくさんしたこと」ではなく、「柱になるもの」をしっかり学び子どもや保護者に伝えてほしいと思います。

### ○ 懇談会について

懇談会では、子どもたちの良さや欠点をしっかりオープンにして、お互いの悩みや問題を共有していくことが大切でしょう。その中で「保護者の輪」が生まれていくと思います。先生方も懇談会は、保護者の意見を聞く大切な機会ととらえていただきたい。そうした一体感の中でPTA活動も楽しく行えていくことと思います。

## 4 課題の焦点化



## 5 改善策

